



ASAHIGAWA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2500 No.3 GROUP
Established on October 26th.1934 RI No.3744

国際ロータリー第2500地区 第3分区

旭川ロータリークラブ 会報

第3636回例会 Vol.77 No.37 2026 (令和8)年5月29日 (金)

▼ プログラム

ゲストスピーチ 「新しい時代の里親 ファミリーホームについて」
(一社)北海道ファミリーホーム協議会 会長/道北双葉里親会 会長 長谷川寛治 氏

メニュー

・お造り (サーモンとイクラ) ・ひじきの小鉢 ・赤魚西京焼き ・獅子唐煮浸し ・蓬麩田楽
・煮物 ・ちりめん山椒ご飯 ・赤出汁

青少年奉仕月間

出席報告

第3635回例会

5月22日

会 員 102名
出 席 54名
出 席 率 52.94%

RIテーマ

会長 フランチェスコ・アレツツォ

“よいことのために手を取りあおう”

6月5日 (金) 第3637回例会プログラム

家族の夕べ (夜間)

これからの予定

6月12日 (金) 新入会員卓話 株式会社セーブ・エナジー 代表取締役 外崎裕二 会員

6月19日 (金) ゲストスピーチ 旭川医科大学 教授・病理医 谷野美智枝 氏

6月26日 (金) 新旧引継例会

5月22日 (金) 第3635回例会の記録

開 会 宣 言 新崎裕一 会場監督

点 鐘 会長 12:30

ロータリーソング斉唱 手に手つないで

- 会 長 濱岡雄史 ●編 集 会報委員会 ●委員長 大蔵真美 ●担 当 大蔵真美・佐藤弘康
- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30 ●事務局 五十嵐友紀子
- 例会場 星野リゾート OMO7 旭川 〒070-0036 旭川市6条通9丁目 TEL (0166) 29-2777 FAX 24-2114
- 事務局 道北経済センタービル 2F 〒070-0043 旭川市常盤通1丁目 TEL (0166) 25-1551 FAX 23-3398
- ホームページ <http://www.asahigawarc.org/> ●Facebook [facebook.com/asahigawarc/](https://www.facebook.com/asahigawarc/)



facebook

会長挨拶：濱岡雄史

皆様、本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日のゲストスピーカーは、人形作家 宮竹様です。後ほどのスピーチを楽しみにしております。

さて、5月はロータリーの「青少年奉仕月間」です。私たちが若い世代と向き合うとき、単に支援するというだけではなく、ロータリーが大切にしてきた価値観を、次の世代へ確かに手渡していくという大きな使命があります。

ロータリーは創立以来、四つのテストに象徴される倫理観、そして「超我の奉仕」という精神を大切にしてきました。これらは時代が変わっても色あせることのない、普遍的な指針です。しかし、価値観というものは、ただ掲げているだけでは伝わりません。人と人との関わりの中で、体験として初めて心に根づくものです。

インターアクト、ロータアクト、RYLA、そして各クラブの青少年奉仕活動。若者がロータリアンと出会い、共に活動し、社会のために力を尽くす経験を重ねることで、ロータリーの精神は自然と受け継がれていきます。その中で若者は、「自分にも社会を良くする力がある」と気づき、私たちは「次の世代に託すべき未来が確かにある」と実感します。

今の若い世代は、価値観も働き方も、私たちの時代とは大きく異なります。しかし、だからこそロータリーの価値観は、彼らにとって新鮮で、力強い道しるべとなり得ます。誠実であること、他者を尊重すること、地域と世界のために行動すること。これらは、どんな時代にも必要とされる普遍の精神です。

青少年奉仕月間である今月、私たち一人ひとりが若者にどのような姿を見せられるか、どのような言葉をかけ、どのような機会を提供できるか、その積み重ねこそがロータリーの未来を形づくりします。

先人たちが私たちに価値観を託してくれた

ように、今度は私たちが、次の世代へロータリーの精神を手渡していく番です。どうか今月を、未来へのバトンをしっかりと渡す月間として、活動していきましょう。

それでは、食事にいたします。

ニコニコボックス

中野典一 会員

誕生日を頂いて！

尾田利雄 会員

誕生日祝、有難うございました。

國松 誠 会員

誕生日プレゼント、ありがとうございます。

大蔵真美 会員

お誕生日お祝い、ありがとうございました。

佐藤弘康 会員

バースデープレゼント、有難うございました。

山下隆久 会員

誕生日のお祝い、ありがとうございました！

穂山正宏 会員

妻の誕生日にステキなお花をありがとうございました。

河井隆郎 会員

ゴルフ大会にて優勝させて頂きありがとうございます。

メークアップ

〔5月16日（土）ライラセミナーへ〕

山本倫生 会員・浅井 傑 会員

〔5月17日（日）ライラセミナーへ〕

山本倫生 会員・浅井 傑 会員

プ ロ グ ラ ム

ゲストスピーチ

「昭和の温かみ伝える人形連れて

日本中を旅した18年間」

人形作家 宮竹真澄 氏



本日は「私の原風景」「宮竹真澄 心のふる里人形展」「新たなかたちの人形展」に分けてお話しさせていただきます。

まず、どうして今こういう人形を作っているのかを知っていただくために、背景や育ったところなどを少し紹介させていただきたいと思います。

私は1949年に大分県宇佐市の農村地帯で生まれ育ったんですね。ちょっと海の方にも行ったことがあります、(写真を示しながら) こういう農家地帯で育ちまして、農耕馬もうちにいました。滅多に人は乗せないんですけども、よく手伝うということで、おじいちゃんが私と兄とを乗せてくれた、私にとってはとても貴重な1枚です。

中学と高校を卒業して、福岡の中村調理師専門学校に行かせてもらいました。上京して3年後に結婚して退社して、私はもうずっと「サラリーマンの妻」で終わるものだと思ってたんですね。それがですね、今ここに至っておりますけれども、そういうことを全く知らずに普通に生活していました。

もともと「手作り」が好きだったのですが、テレビでちょっとお人形作りを見たんです。それで本を1冊買ってきて、子育てが一段落した頃に始め、粘土を造形して水彩で描いて、最初は表情のないお人形でした。1991年に

脱サラした夫から「一家6人と犬1匹で北海道に移住したい」との申し出が突然ありまして、2年近く家族でいろいろ話し合いました。夫はその間に何度か北海道を訪れて東川に土地を見つけ、結局母と子どもたちの同意を得て、そろって移住しました。

その間も人形作りは続けており、2006年に道展に初入選し、それから11年連続入選させていただきました。2007年には東川町の文化奨励賞もいただきました。

移住後と移住前では人形の作風ガラッと変わりました。生活環境が激変し、皆さんの温かさに触れて、自分も笑顔でいなきゃいけないよなということで、本当周りにいる人、いた人たちをモデルに作るようになっていきました。自分も楽しいので、いろんなことを忘れて、創作に励みました。

さて、これまで全国各地で「心のふる里人形展」を手作りで開いてきました。(写真を示しながら) 会場の壁際にはボードを90枚、100枚ぐらい貼るんです。自分の今まで経験したことのエッセイとか、皆さんに思い当たるような出来事を綴っております。会場では懐かしい音楽をBGMとして流しているんですね。3つ同時に楽しんでいただけるような人形展です。

普通こういう活動は、企画会社の方とかイベント屋さんが入るのですが、私たちはまるっきり手探りで、特に夫が一生懸命だったんですけれども、会場選びから、会場の設営、撤収作業、もちろん搬入もそうですけれども、二人でやってきました。途中からは体力も少しずつ衰えてきてまして、お手伝いをいただくようになり、2025年7月の札幌市民ギャラリーでの開催が、自主活動の最後の人形展になります。その時は、新聞に「最後の自主活動」と書いていただいたので、遠くは利尻礼文から飛行機で来てくださったり、帯広、釧路からも駆けつけてくださいました。

東北では何度も人形展を開きました。2011年3月に大きな震災があり、その年の8月に盛岡での開催をもともと予定していた

のですが、会場には自主避難された方も多く来ていただきました。翌年から、「笑顔を被害者の方々に届けて」というご要望もあり、気仙沼、石巻、大船渡、陸前高田、宮古、南三陸町と開催してきました。気仙沼で2012年に開催した時には、そこが避難場所でもあったため、多くの来場者が「生きていたのか」と互いの生存を確認しあっていて、私にとっても忘れられない経験になりました。

2024年には旭川市の歴史あるななかまど文化賞を頂戴し、昨年7月には自主活動に区切りをつけることになりました。

実は現在、鳥取県の山間のまち、日南町で88作283体の人形を展示して、私たちにとって最大規模の人形展を開催しているところです。車を運転して現地まで作品を運び込み、6月7日に開催が終了したらまた作品を取りに行きます。開催は現地の方にお任せしています。

人形展では、会場の感想ノートに、見に来てくれた方が感想を書いています。一部を紹介します。

「ありがとうございました。涙などどっくに枯れたと思っていたのに、顔がくしゃくしゃ」

「もうじき死ぬので、昭和の姿を目に焼き付けたくて来ました。満足です。ありがとうございました」

最後に、常設ギャラリーへの夢についてお話しします。まだまだいいものを作る力もありますし、今までも「どこでも見れる場所はないんですか」とか、「次の人形展はいつでしょうか」とか、「いつでも見れる場所があったらいいな」という声をよくいただくんですね。私たちも旭川や東川に、そういう場所を設ける夢を見続けております。

点鐘 会長 13:30

